

モンゴル経済概況

2020年6月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部

【免責条項】

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

目次

1. モンゴルの基礎データ
2. 最近の政治経済動向①
3. 最近の政治経済動向②
4. GDP成長率の推移
5. 貿易の推移
6. 名目鉱工業生産の推移
7. 貨物輸送量
8. 物価(インフレ率)
9. 歳入・歳出の推移
10. 貸出残高
11. 貸出金利
12. M2の推移
13. 対ドル・対円の為替レート
14. 外貨準備高
15. 主要輸出入品目
16. 主要輸出相手国
17. 主要輸入相手国
18. 主要国・地域別直接投資額
19. 主要国・地域別投資企業数
20. 主要業種別投資企業数
21. 日本からの直接投資
22. 日本との貿易概況

1. モンゴルの基礎データ

国名：モンゴル国

面積：156万4,100平方キロメートル

人口：323万9,500人(2018年末現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等

言語：モンゴル語（公用語）、カザフ語

宗教：チベット仏教等（1992年2月施行の新憲法は信教の自由を保障）

政体：共和制（大統領制と議院内閣制の併用）

行政区分：21県と1特別行政区

通貨：トゥグルク（100トゥグルク=約3.83円）

（2020年5月1日現在）

2.最近の政治経済動向①

新型コロナウイルスの経済対策第1弾および第2弾を実施

・政府は4月1日から新型コロナウイルスの感染予防のための規制による景気悪化対策第1弾として以下7項目を実施した。予算規模は5.1兆トゥグルク(約1,960億円、1円=26トゥグルク)で、財源は政府特別会計で対応。

- 1.企業・個人の社会保険料を半年間免除、2.個人所得税を半年間免除
- 3.前年度課税所得が15億トゥグルク未満の企業の法人税を半年間免除(注1)、
- 4.減収下でも雇用を維持している企業に支援金20万トゥグルク/人・月を3カ月間支給
- 5.遊牧民とカシミア業者に低利融資を提供、6.児童手当を3カ月間増額
- 7.ガソリン1リットルあたり300トゥグルク以上値下げ

・政府は5月6日の閣議後、総額7,930億トゥグルク(約303億円、1円=26.2トゥグルク)規模となる経済対策第2弾として以下4項目を実施すると発表した(注2)。財源は新型コロナウイルスの影響で中止になったイベントに計上していた予算の流用と特別会計から充当。

1. 児童手当を月額10万トゥグルクに増額(注3)(対象期間:4月1日～10月1日)
2. 貧困世帯へのフードスタンプを大人月額32万トゥグルク、子供月額16万トゥグルクに倍増(対象期間:4月1日～10月1日)
3. 無年金高齢者、母子・父子家庭への福祉手当を月額10万トゥグルク増額(対象期間:4月1日～10月1日)
4. 遊牧民へのカシミア生産補助金支給(カシミア1キログラム当たり2万トゥグルク)

注1:ただし、以下の業種を除く。資源・放射性鉱物の探査・採掘、輸送、販売、アルコールおよび葉タバコの栽培、タバコの生産と輸入、石油製品の生産、全種類の燃料の輸入・卸売・小売、石油探査・採掘・販売。

注2:4月にさかのぼって適用する。4月分の未支給額は5月分に上乗せして支給する。

注3:経済対策第1弾で月額2万トゥグルクから3万トゥグルクに増額していた分に追加で増額する。

出所:[モンゴル政府公式サイト](#)

3.最近の政治経済動向②

ロシアと中国を結ぶガスパイプライン「シベリアのカ2」の建設動向

- フレルスフ首相が2019年12月に訪ロした際、ロシアガス大手のガスプロムと相互理解に関する覚書を締結、モンゴル経由の天然ガスパイプライン建設プロジェクトが正式に動き出した。(1月6日付ビジネス短信参照)
- 3月27日にガスプロムのミラー会長はプーチン大統領と会談した際、事前調査の結果、「シベリアのカ2」の年間輸送能力は500億立方メートルに達し、費用対効果が大きいと報告し、現地調査(FS※)とパイプラインの設計図作成に着手する許可をプーチン大統領に申請した。
- 一方、3月31日にモンゴルの国家安全保障評議会は、「シベリアのカ2」建設プロジェクトの作業部会を設立し、エンフトゥブシン副首相を作業部会長に任命した。
- 5月5日にエンフトゥブシン副首相がアジゾフ駐モンゴルロシア大使と会談した。会談の主なテーマは、モンゴル経由でロシアから中国へ天然ガスを輸送するパイプライン「シベリアのカ2」建設プロジェクトで、建設計画、敷設ルート、専門人材の育成などの問題について意見交換した。

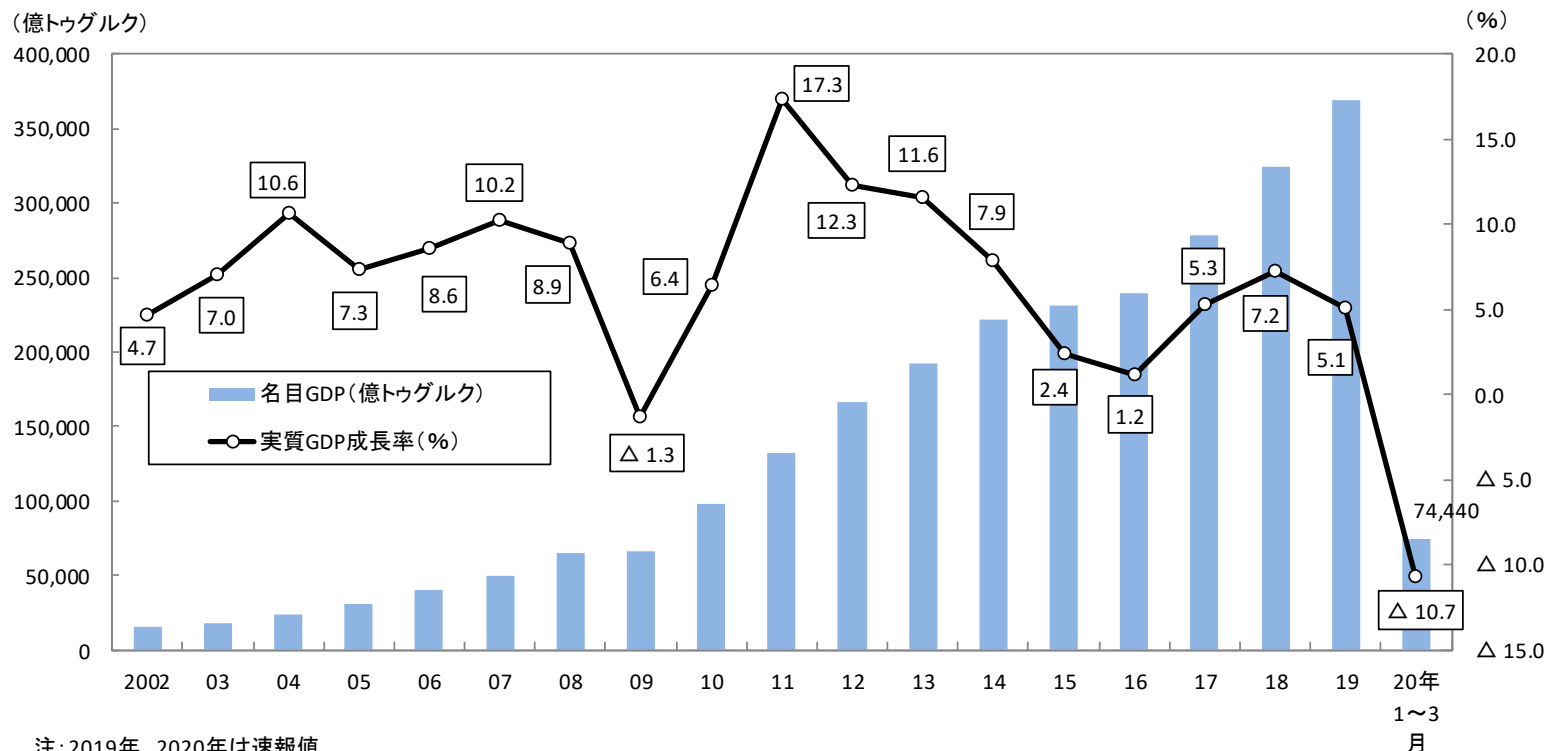
※FS=Feasibility Study:プロジェクトの実現可能性を調査すること。

出所: [モンゴル政府公式サイト](#)

4.GDP成長率の推移

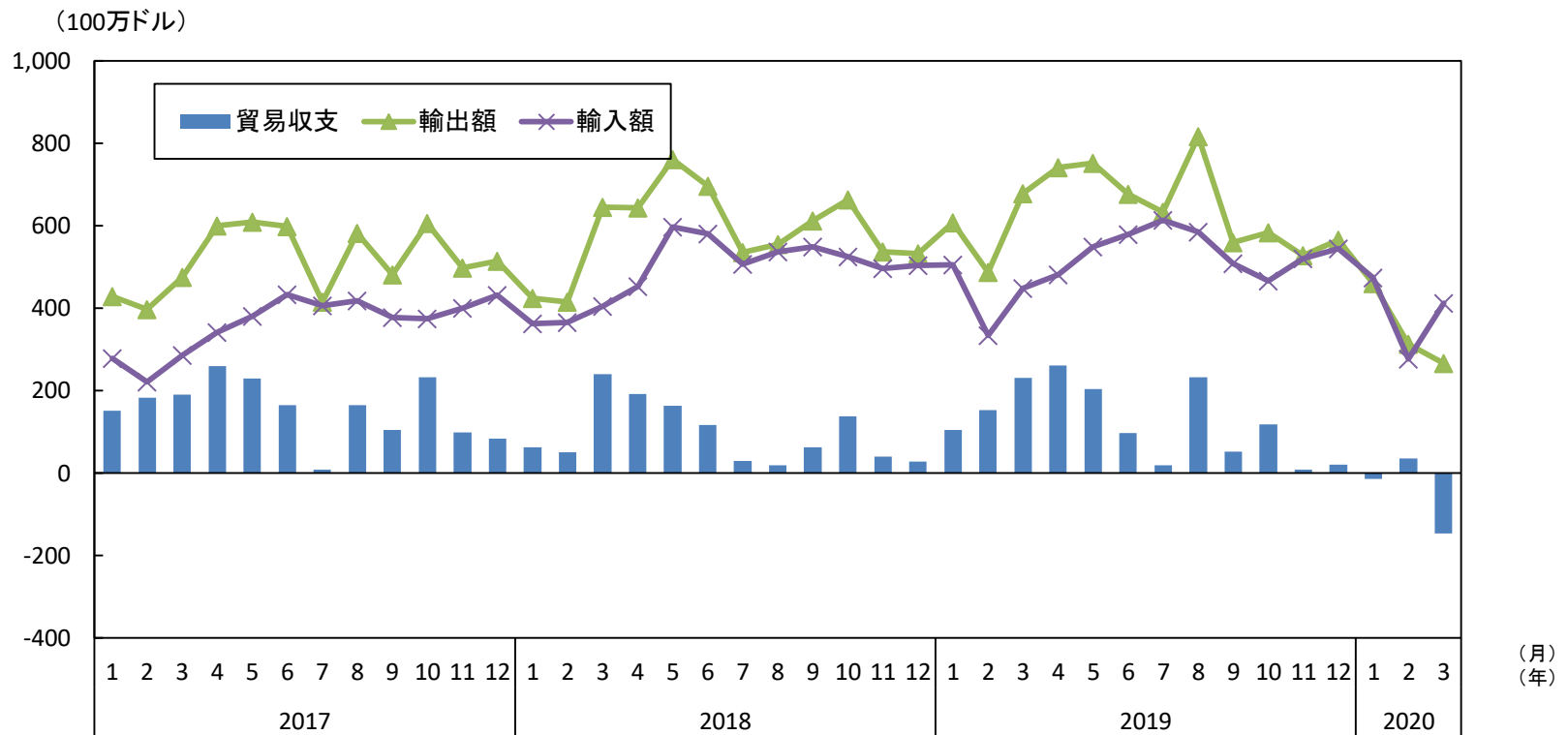
2020年1～3月の実質GDP成長率は前年同期比マイナス10.7%で、前年同期(8.6%)より19.3ポイント低下した。

2020年1～3月の名目GDPは前年同期比6.3%減の7兆4,440億トウグルクだった。国家統計局は経済成長率がマイナスに転じた背景として、鉱山業、サービス業の伸び率低下を挙げた。



5.貿易の推移

2020年1～3月の貿易総額は、前年同期比28.1%減の22億ドルとなった。貿易総額のうち、輸出額は41.5%減の10億4,000万ドル、輸入額は9.7%減の11億6,000万ドルとなった。

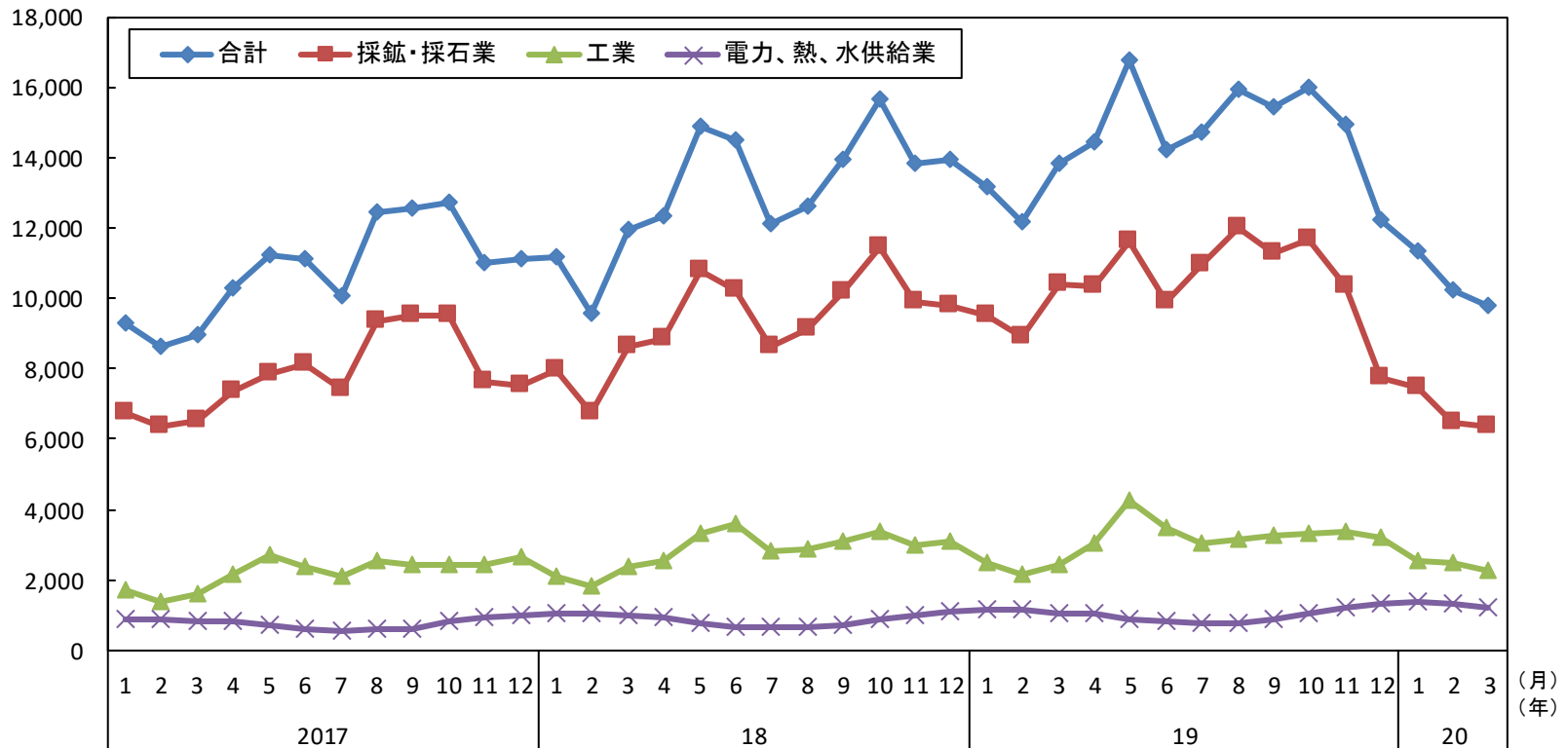


出所: 国家統計局
注: 2019年, 2020年は速報値

6. 名目鉱工業生産の推移

2020年1～3月の鉱工業生産額は、前年同期比19.9%減の3兆1,414億トウグルクとなった。採鉱・採石業の生産額が29.8%減と減少し、特に石炭の生産額が46.0%減と大幅減となったことが主な要因であった。

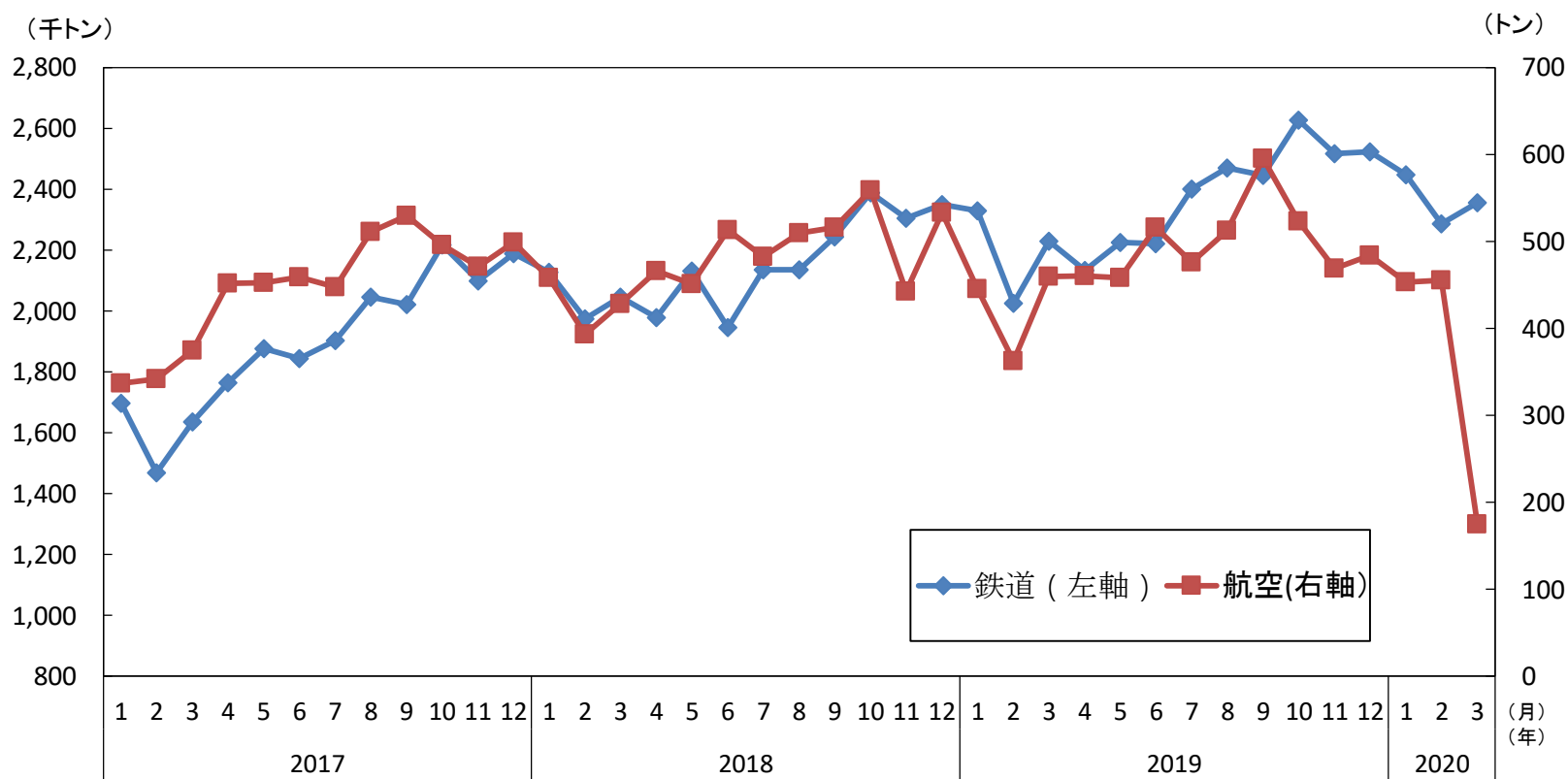
(億トウグルク)



出所: 国家統計局
2020年は速報値

7.貨物輸送量

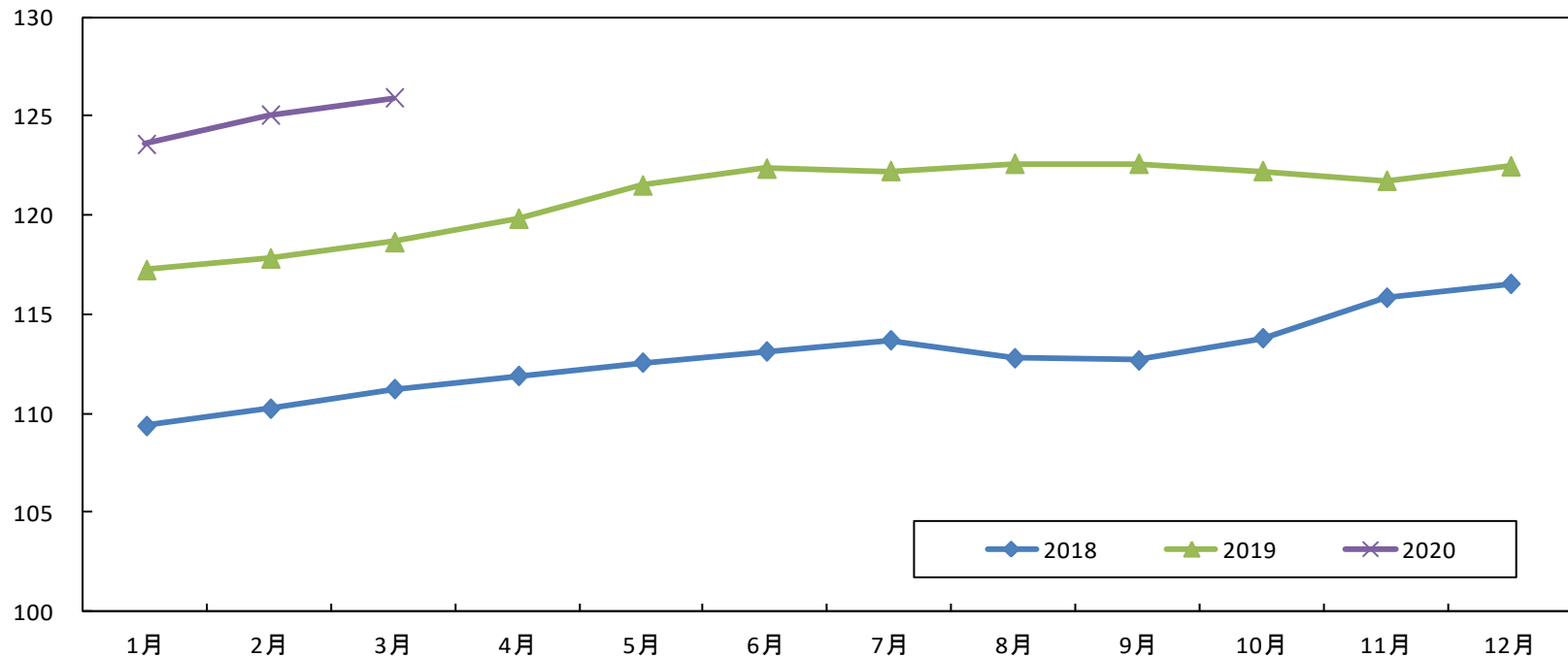
2020年1～3月の鉄道貨物輸送量は、前年同期比7.7%増の709万トン、航空貨物輸送量は、14.5%減の1,083トンだった。



出所: 国家統計局
2020年は速報値

8.物価（インフレ率）

2020年3月のインフレ率（全国）は前月比で0.7%、前年同月比で6.4%上昇した。上昇の主な要因は食品・飲料（前年同月比10.5%）、住居・光熱水道・燃料（5.0%）、医療（3.3%）の価格上昇であった。

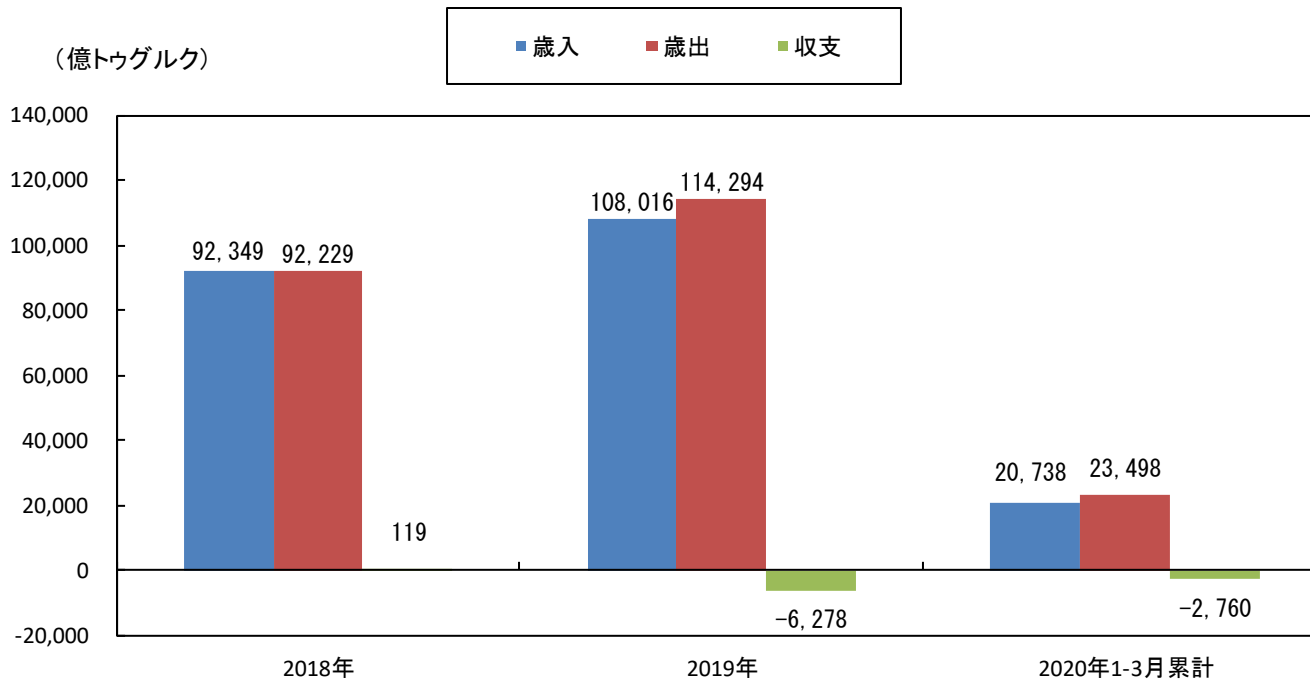


出所：国家統計局

注：2015年末を100%とする指数

9.歳入・歳出の推移

2020年1～3月における政府の歳入は2兆738億トウグルク、歳出は2兆3,498億トウグルクとなった。財政収支は、2,760億トウグルクの赤字となった。

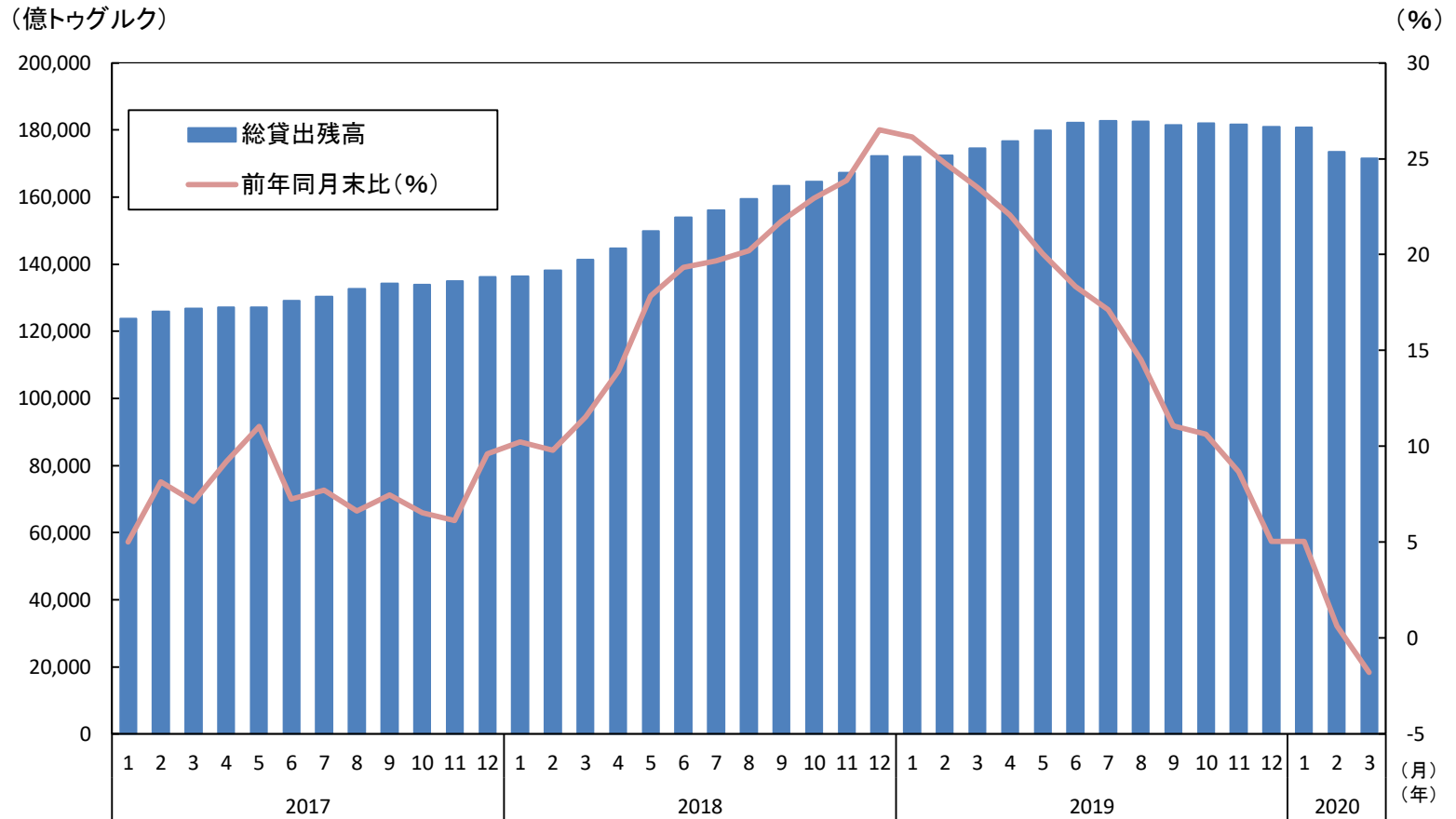


出所：国家統計局

注：2020年は速報値

10.貸出残高

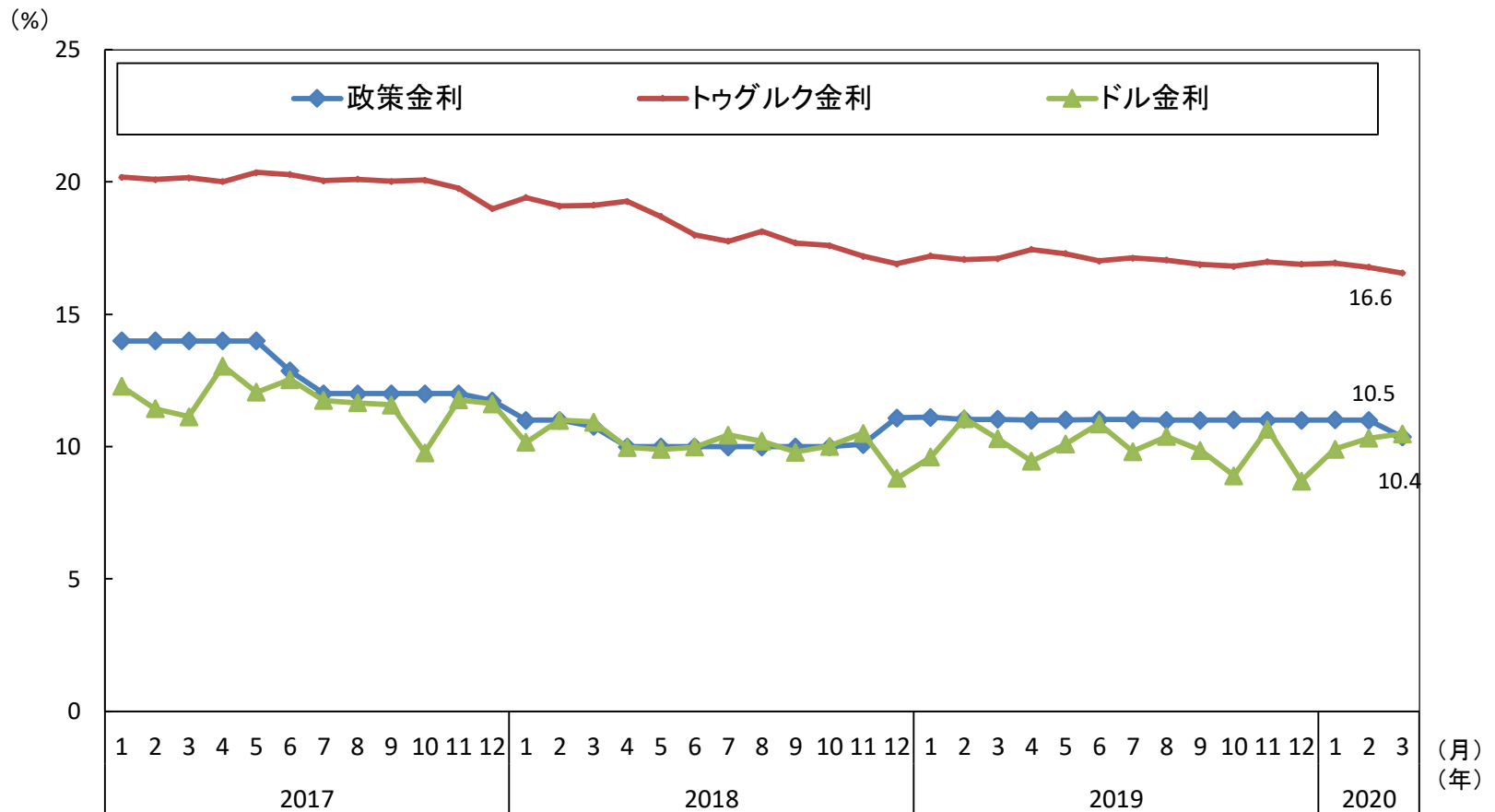
2020年3月末時点の総貸出残高は、前年同月末比1.8%減の17兆1,465億トゥグルクだった。



出所:モンゴル銀行

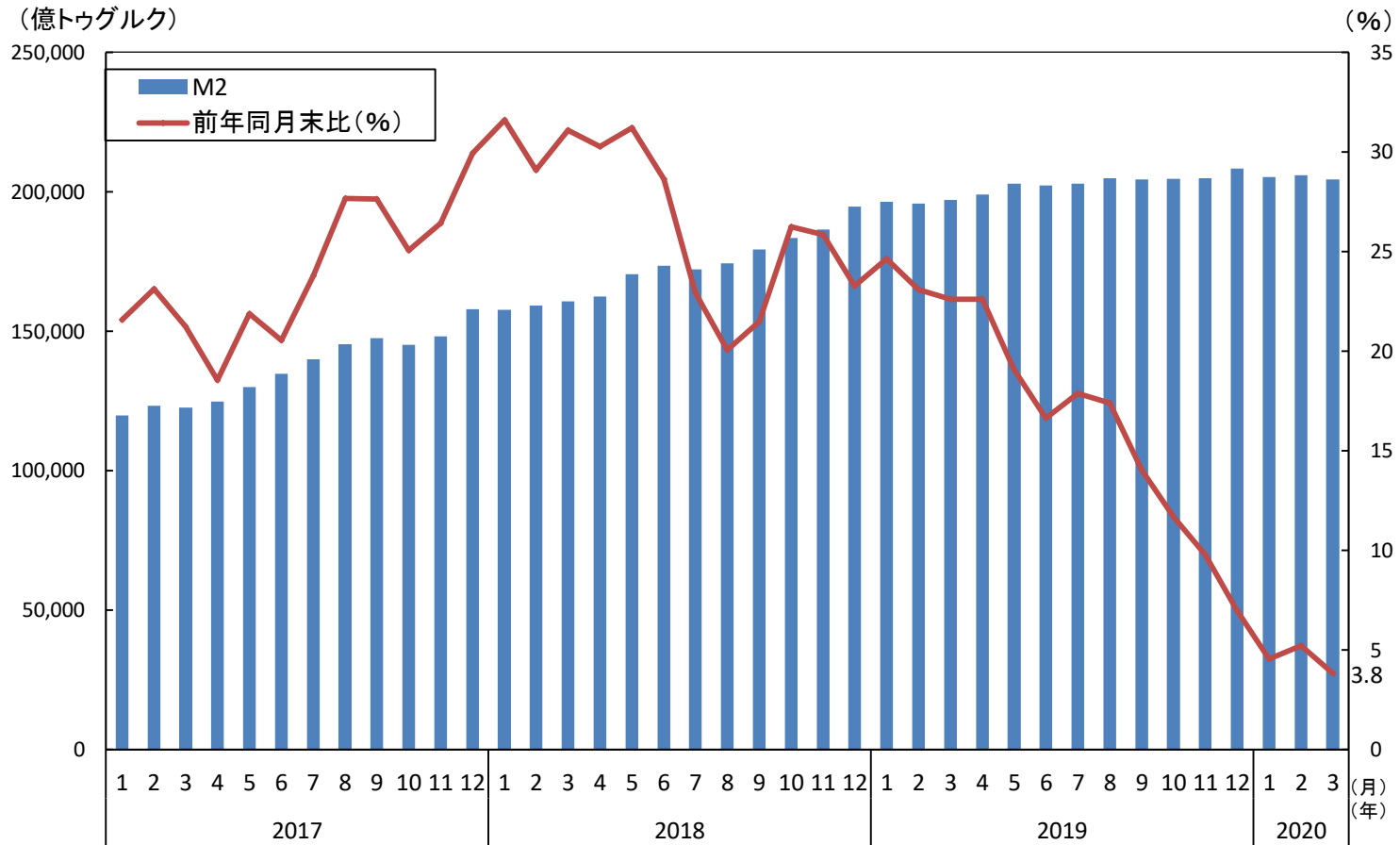
11.貸出金利

2020年3月の政策金利は、前年同月比0.7ポイント低下の年利10.4%だった。
新規貸出金利はトゥグルクが同0.5ポイント低下の16.6%、ドルが0.2ポイント上昇の10.5%
だった。



12.M2の推移

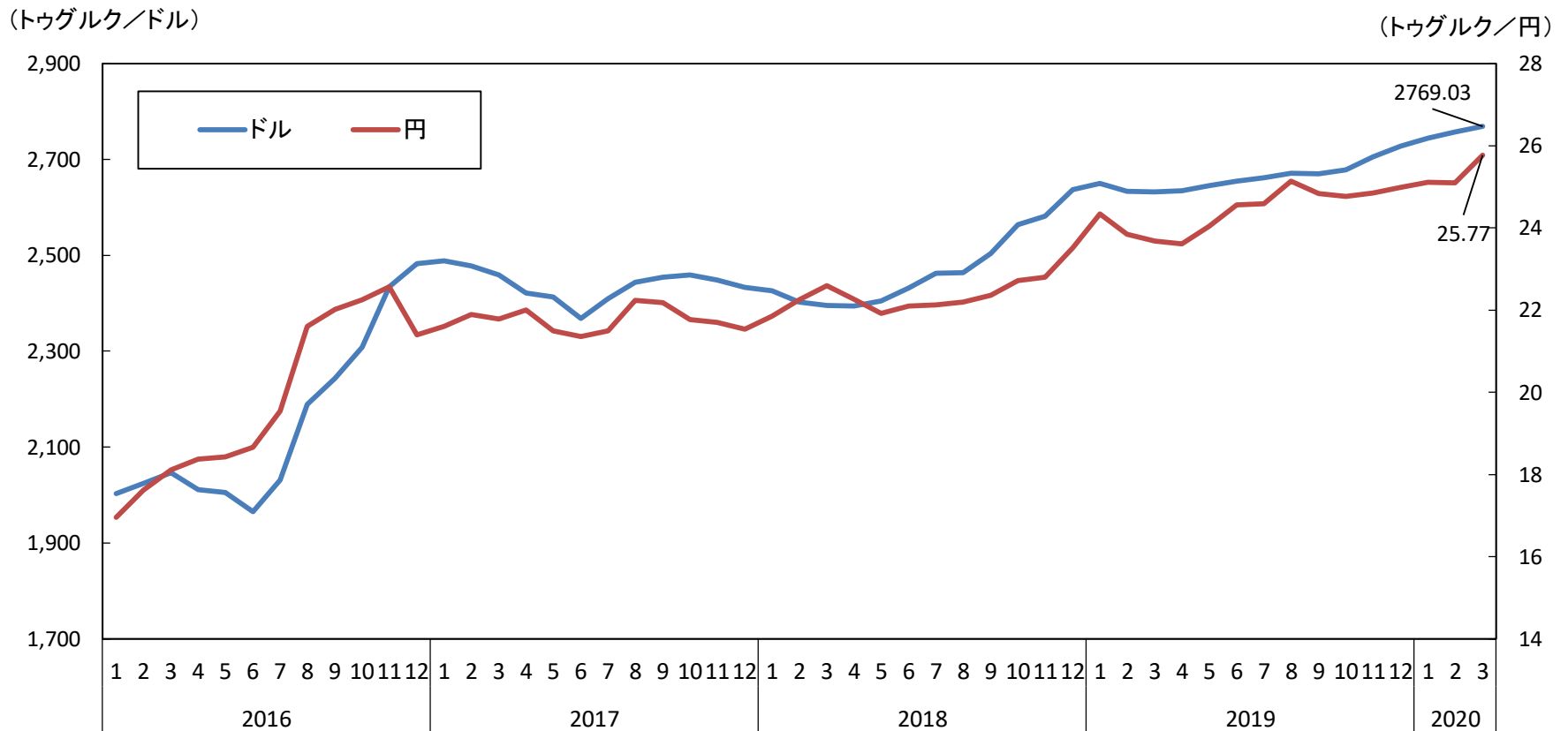
2020年3月末のマネーサプライ(M2)は、前年同月末比3.8%増の20兆4,518億トゥグルクだった。



出所: モンゴル銀行

13.対ドル・対円の為替レート

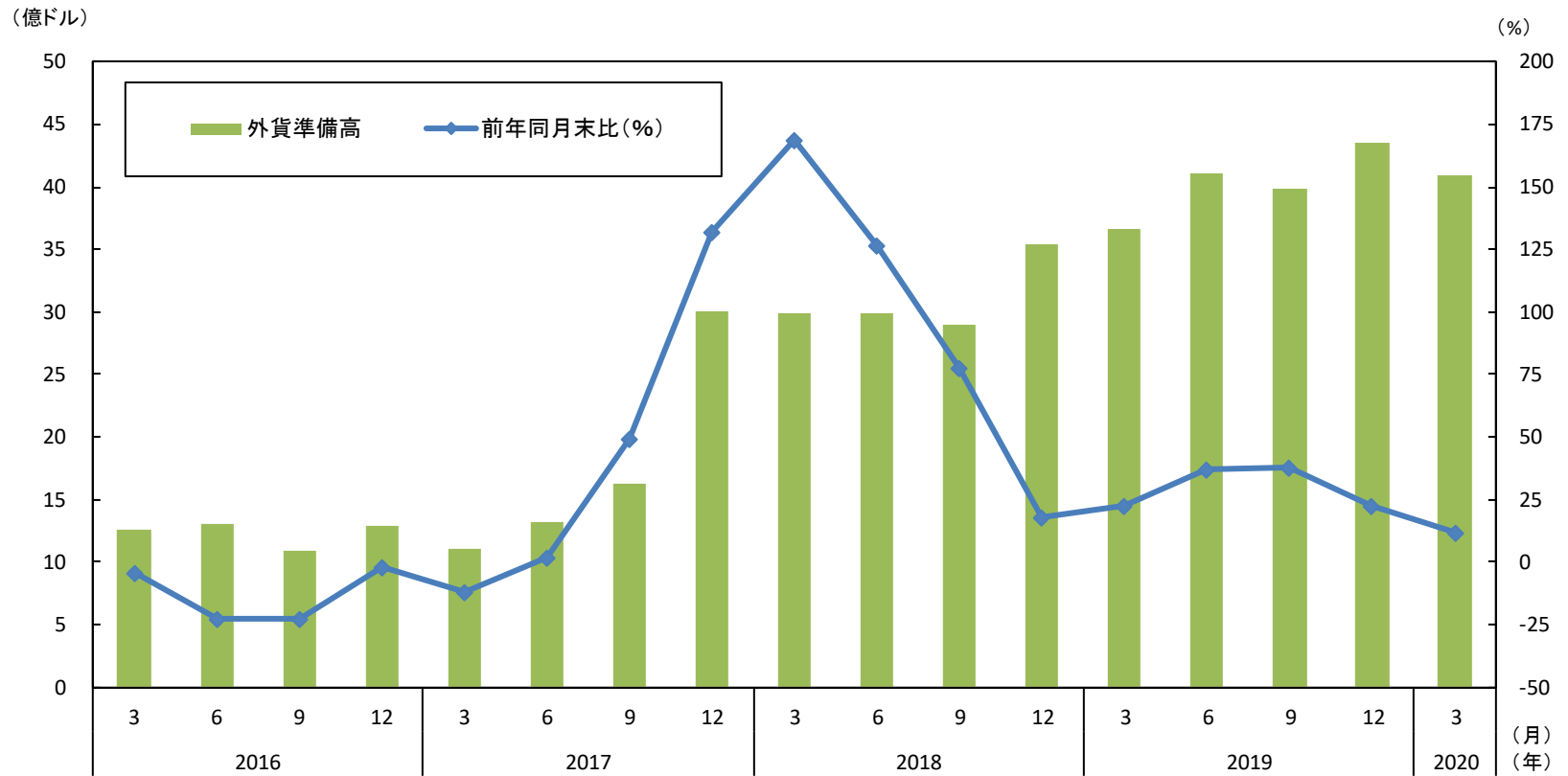
2020年3月は前月比で対円、対ドル共にトウグルク安となり、1円25.8トウグルク、1ドル2,769トウグルクだった。



出所: モンゴル銀行

14.外貨準備高

2020年3月末時点のグロス外貨準備高は、前年同月末比11.9%増の40億9,420万ドルとなった。



15.主要輸出入品目

2020年1～3月の主要輸出品目のうち、石炭が前年同期比60.7%減少し、銅精鉱が30.3%減となった。

主要輸入品目では、自動車およびその部品が前年同期比21.4%減、ディーゼル燃料が23.1%減となった。

(単位:100万ドル)

品目	2018年1～3月	2019年1～3月	2020年1～3月	前年同期比(%)
輸出	1,482.4	1,771.7	1,035.8	△ 41.5
鉱物	1,252.5	1,478.9	886.0	△ 40.1
石炭	514.5	644.2	252.9	△ 60.7
銅精鉱	462.5	503.7	351.2	△ 30.3
卑金属およびその製品	24.5	15.3	18.6	21.6
皮革および毛皮並びにこれらの製品	6.3	4.4	4.1	△ 6.8
生地およびその製品	26.8	32.5	25.6	△ 21.2
石、人造石、貴金属および宝石	124.5	196.0	80.4	△ 59.0
輸入	1,130.5	1,285.7	1,161.6	△ 9.7
食料品	89.3	87.1	89.7	3.0
鉱物	278.8	315.4	284.0	△ 10.0
ガソリン	58.7	77.4	70.6	△ 8.8
ディーゼル	133.8	163.0	125.3	△ 23.1
卑金属およびその製品	87.9	94.0	80.3	△ 14.6
自動車およびその部品	154.6	242.5	190.6	△ 21.4
機械器具、電気製品	251.3	281.3	240.7	△ 14.4

2020年1～3月は速報値

出所: 国家統計局、モンゴル税関庁

16.主要輸出相手国

2020年1～3月における主要輸出相手国のうち、輸出額1位の中国は前年同期比40.4%減、構成比は87.3%(1.6ポイント上昇)となった。

国名	2018年1～3月		2019年1～3月		2020年1～3月		
	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	伸び率(%)	構成比(%)
合計	1,482,411.0	100.0	1,771,683.0	100.0	1,035,802.6	△ 41.5	100.0
中国	1,284,661.1	86.7	1,518,611.3	85.7	904,584.3	△ 40.4	87.3
英国	131,953.0	8.9	204,709.1	11.6	57,374.5	△ 72.0	5.5
スイス	56.4	0.0	86.8	0.0	32,259.1	372倍	3.1
ロシア	17,257.2	1.2	14,879.5	0.8	11,016.9	△ 26.0	1.1
シンガポール	7,953.4	0.5	7,363.4	0.4	5,817.8	△ 21.0	0.6
イタリア	2,265.6	0.2	2,707.5	0.2	5,410.4	2.0倍	0.5
韓国	1,832.8	0.1	5,970.4	0.3	4,249.7	△ 28.8	0.4
日本	2,825.4	0.2	2,826.6	0.2	2,741.5	△ 3.0	0.3
米国	1,212.9	0.1	1,281.9	0.1	2,153.2	68.0	0.2
ドイツ	5,047.1	0.3	1,675.5	0.1	1,807.1	7.9	0.2
トルコ	2,146.8	0.1	582.4	0.0	1,371.3	2.4倍	0.1
イラン	683.1	0.0	2,404.2	0.1	1,301.7	△ 45.9	0.1
その他	24,516.4	1.7	8,584.4	0.5	5,715.2	△ 33.4	0.6

注: 2020年1～3月は速報値

出所: モンゴル税関庁

17.主要輸入相手国

2020年1～3月における輸入総額は前年同期比9.7%減少した。主要輸入相手15カ国のうち、第1位のロシアと第2位の中国で約6割を占める。日本は第3位で7.6%を占めている。

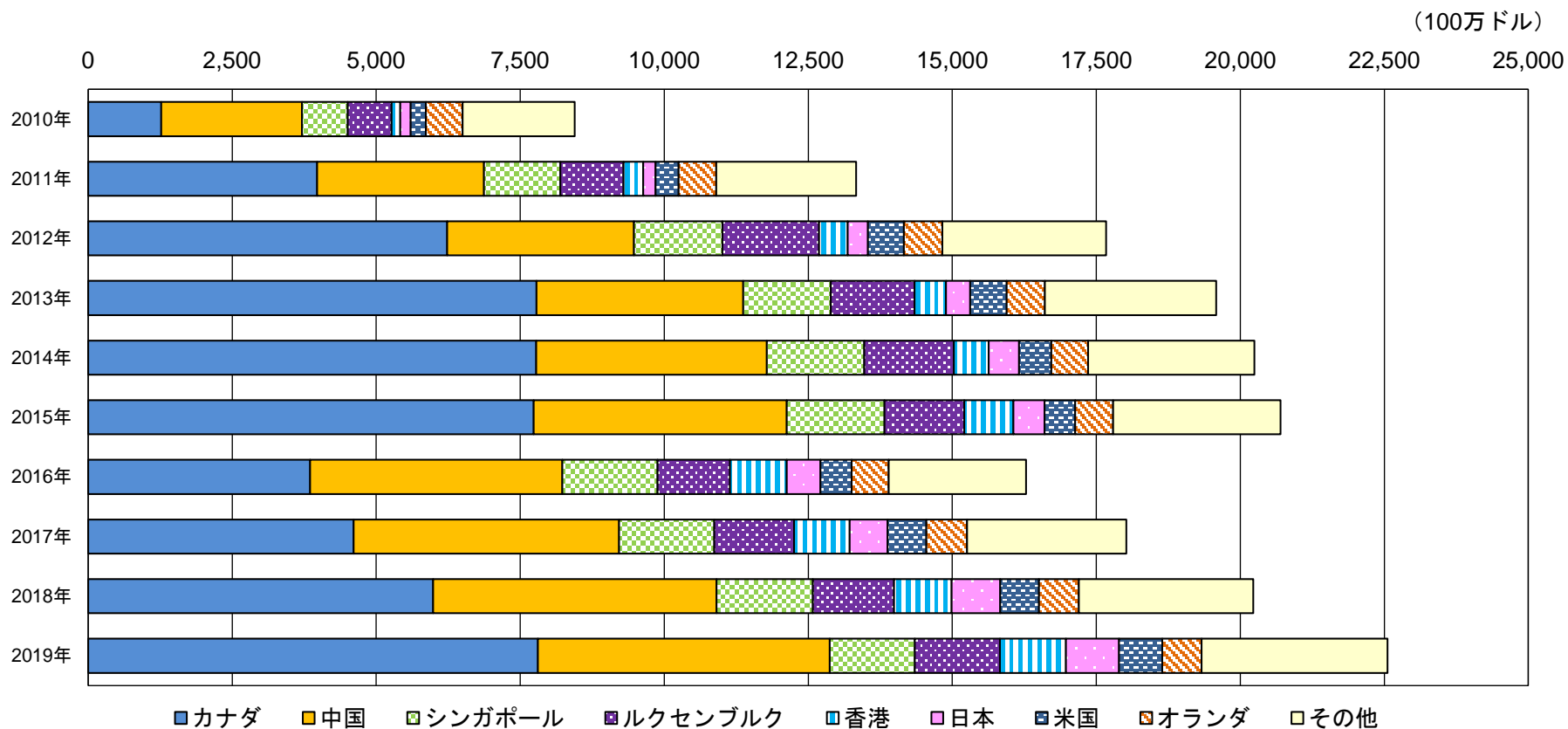
国名	2018年1～3月		2019年1～3月		2020年1～3月		
	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	伸び率(%)	構成比(%)
合計	1,130,469.8	100.0	1,285,740.7	100.0	1,161,564.1	△ 9.7	100.0
ロシア	361,257.9	32.0	363,001.5	28.2	389,603.2	7.3	33.5
中国	356,798.3	31.6	369,063.8	28.7	332,318.5	△ 10.0	28.6
日本	98,904.6	8.7	139,793.4	10.9	88,029.3	△ 37.0	7.6
米国	43,972.4	3.9	109,587.0	8.5	53,536.7	△ 51.1	4.6
韓国	46,816.3	4.1	53,514.3	4.2	45,984.6	△ 14.1	4.0
ドイツ	33,016.1	2.9	45,928.8	3.6	44,726.8	△ 2.6	3.9
マレーシア	9,426.2	0.8	11,401.7	0.9	13,317.9	16.8	1.1
タイ	5,206.4	0.5	7,386.9	0.6	12,996.3	75.9	1.1
インド	10,289.8	0.9	8,113.0	0.6	10,592.3	30.6	0.9
ベトナム	10,698.9	0.9	12,526.0	1.0	10,004.5	△ 20.1	0.9
オーストラリア	10,337.3	0.9	14,466.9	1.1	9,705.6	△ 32.9	0.8
イタリア	10,140.2	0.9	10,300.9	0.8	9,576.8	△ 7.0	0.8
トルコ	8,266.7	0.7	9,067.6	0.7	9,246.6	2.0	0.8
オーストリア	1,716.1	0.2	5,721.6	0.4	8,829.6	54.3	0.8
英国	5,869.2	0.5	6,567.2	0.5	8,402.7	28.0	0.7
その他	117,753.4	10.4	119,300.0	9.3	114,692.7	△ 3.9	9.9

注：2020年1～3月は速報値

出所：モンゴル税関庁

18.主要国・地域別直接投資額

2019年末の直接投資額(累計)は、226億ドルとなった。主要国・地域別ではカナダ、中国、シンガポール、ルクセンブルク、香港の5カ国・地域からの直接投資が170億ドルで全体の75.2%を占めた。



出所：モンゴル銀行

19.主要国・地域別投資企業数

国家開発庁によると、2019年6月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万4,813社。このうち、中国が7,462社で、全体の約5割を占めて最大となっている。次いで韓国(2,509社)、ロシア(901社)、日本(650社)、米国(333社)等の順となっている。

なお、外務省が実施している海外在留邦人数調査統計(令和元年版(2018年10月1日現在))によると、進出日系企業の拠点数は456拠点であった。

20.主要業種別投資企業数

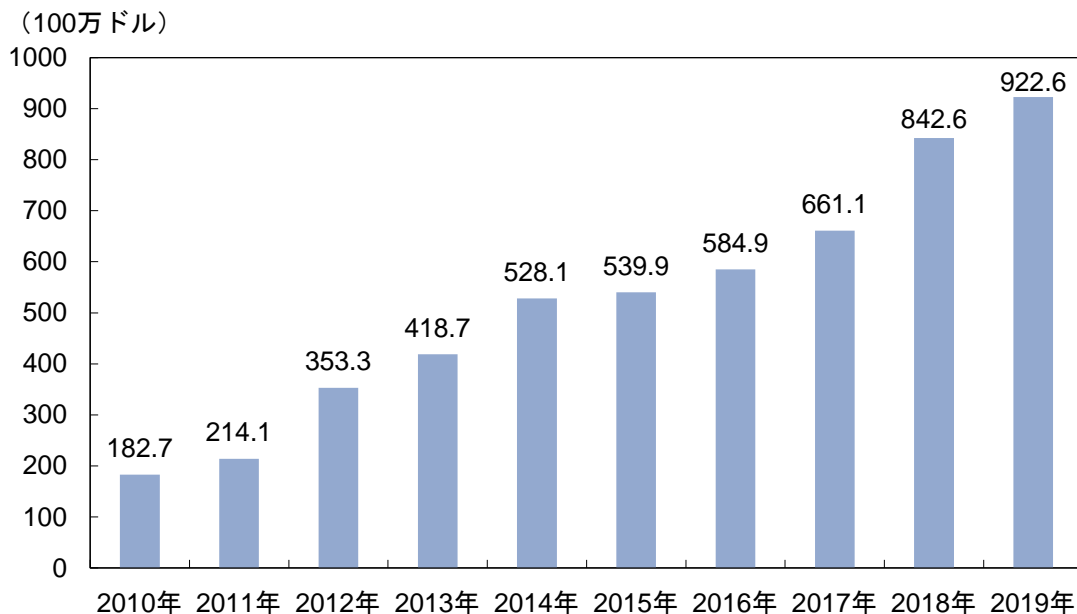
国家開発庁によると、2019年6月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが1万89社で全体の3分の2を占める。このほか、鉱業(453社)、エンジニア施設・建築材料生産(451社)、観光(435社)、輸送(243社)、軽工業(210社)、食料品生産(209社)、農業(172社)、家畜産業の原料加工業(170社)、情報通信(131社)等となっている。

21. 日本からの直接投資

2019年末における日本からの直接投資額(累計)は、9億2,258万ドルとなった。

日本からの主要投資分野は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどとなっている。

主要投資企業名(順不同)



出所：モンゴル銀行

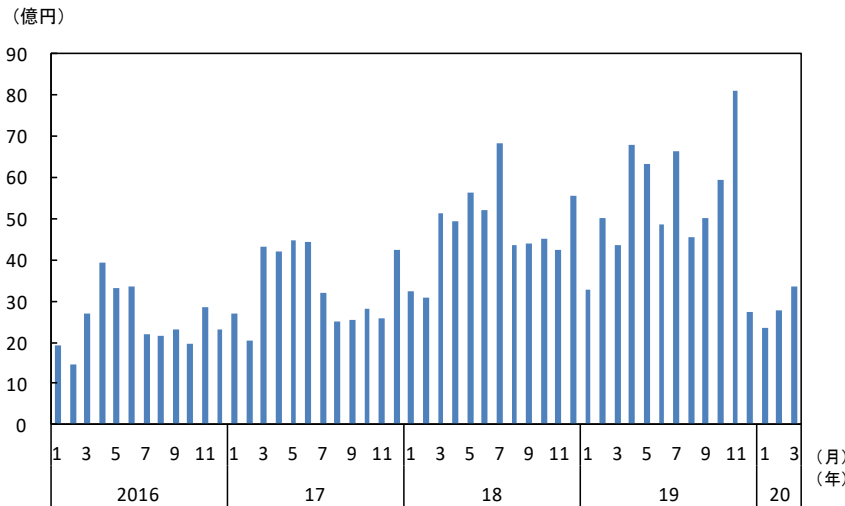
大日本土木	松坂屋建材
伊藤忠商事	日本工営
鴻池組	シスメックス
丸紅	TDB Leasing
住友商事	三井住友銀行
UNIGAS	三菱UFJ銀行
三井物産	加藤運輸
MobiCom	トヨタ自動車
双日	アプロビルディングサービス
フロンティア証券	大正法律事務所
賛光精機	東横イン
三菱商事	TOYOTA SALES MONGOLIA
東海運	ウーノアクティブ
会沢高圧コンクリート	JT
HIS	摂津倉庫
岩田地崎建設	エイト森
原口総合法律事務所	電通データアーティスト
メガテック	Cominix
ユニメディア	

出所：[モンゴル日本商工会](#)

22. 日本との貿易概況

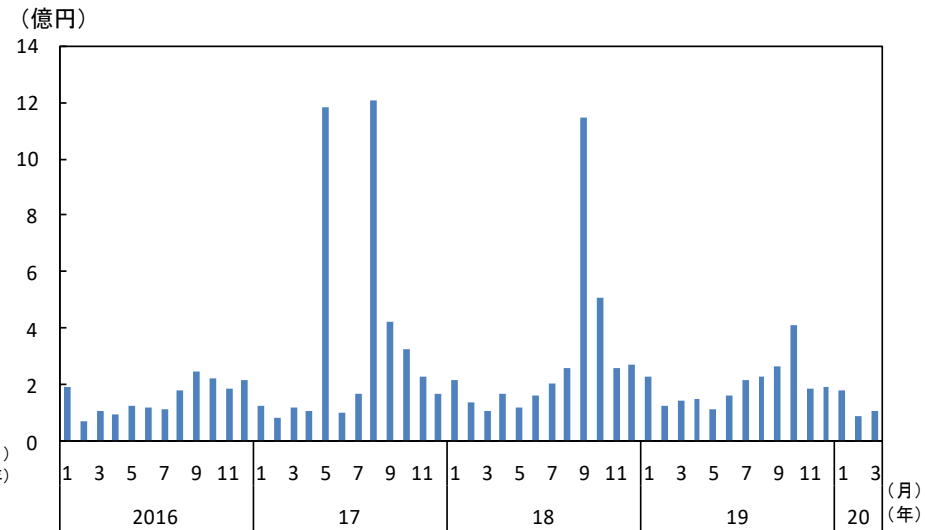
貿易額について日本側の統計をみると、2020年1～3月における日本の対モンゴル輸出は前年同期比32.9%減の85億円、日本の対モンゴル輸入は24.5%減の4億円となった。

日本の対モンゴル輸出



出所: 財務省貿易統計(日本)

日本の対モンゴル輸入



出所: 財務省貿易統計(日本)

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20200003>



本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
TEL : 03-3582-5181
E-mail : ORG@jetro.go.jp

禁無断転載